

サラリーマン川柳(高級品は給湯室で仕分けられ)(就職難記念に受ける一流社企業)



連合中越幹事会

六日町で議案審議・意見交換

南魚沼支部役員会と懇親交流会で意思疎通

連合中越幹事会は年次総会に向けた議案審議のために、新たに中越地協のエリアとなった南魚沼市六日町にて一泊二日の討論と意見交換を行った。一日目の討議の後は、南魚沼支部役員会との懇親交流会が行われ、支部と地協の忌憚のない交流がなされた。

10月10日(金)18時30分から幹事会は開始され、議案書の全体構成について共通認識を図った上で、08年度の活動の歩み、決算状況について報告が行われた。各支部の項では、役員構成と主な活動を記載することとし、支部活動の詳細は各支部段階の総会時の報告で記載すること

10月11日(土)9時から審議開始。意見交換では、地協の独自活動をもっとピックアップすべきという意見が出された。予算関係では連合新潟との調整部分も含め、支部予算については、定額十組織員数割合と、支部独自活動補填の3本立ての第2案方式で組み立てる事となった。

泊りがけの議案審議は十分に討議時間が確保でき、支部交流も実施できた有意義なものとなった。



第621号 2008.10.21
 連合中越地域協議会
 長岡市東蔵王2-2-68
 TEL 0258-24-0515
 FAX 0258-24-8930
 発行人 矢島 良彦
 定 価 1部10円



第18回連合中越年次総会のご案内

日時 11月20日(木)14:00~
 会場 会館 青善 会議室
 議題 08年度一般活動報告、決算報告、監査報告、その他
 09年度重点課題、予算、その他
 ※躍進レセプションは17:45~受付開始。



(財)新潟県勤労者厚生財団(新潟労金)

NPO支援について5周年フォーラム開催

NPO先進国の記念講演と パネルディスカッションで活動支援を検証

新潟県労働金庫の設立50周年を記念して設立された厚生財団のNPO活動支援がスタートして5年。事業内容の検証をはかり次の5周年のに向けて基金の有効活用を図ろうとフォーラムが開催された。

10月11日(土)午後から東映ホテルにて財団法人新潟県勤労者厚生財団が主催して、NPO事業推進の5周年を記念してフォーラムを開催。

5年間の助成事業の事業効果を検証する目的で実施されたもので第1部は、NPO活動の先進地アメリカのペインシルバニア州のNPO協会事務局長の講演が行われた。米国ではNPO活動費用は個人からの寄付金が大半、活動そのものはボランティア

10月11日(土)午後から東映ホテルにて財団法人新潟県勤労者厚生財団が主催して、NPO事業推進の5周年を記念してフォーラムを開催。

5年間の助成事業の事業効果を検証する目的で実施されたもので第1部は、NPO活動の先進地アメリカのペインシルバニア州のNPO協会事務局長の講演が行われた。米国ではNPO活動費用は個人からの寄付金が大半、活動そのものはボランティア

10月14日(火)、連合柏崎から受けた十日町、南魚沼、北魚沼の各支部がリレーで運行。15日(水)は小千谷から長岡へ引き継いで運行。16日は長岡から栃尾、見附を経て夕方には連合県央にバトンタッチされた。

県最低賃金の周知も同時に行われた。各支部が連携しての活動となり、一定のPR効果が得られた。

見なくっちゃ 聞かなくっちゃ 言わなくっちゃ

●日本のものづくりの技術を習得して各国の技術水準向上に役立てるといふ目的の「研修・実習生制度」が制度疲労している。

●目的とはかけ離れた双方(受入企業側と研修・実習生側)の利害関係が絡んでいいる。研修とは名ばかりの安い単純労働者として使用する企業、短期間に高収入を得たいと出稼ぎ目的の外国人労働者。相互依存しながらも自己利益は相反する敵対関係で成立している。

●時間外労働・休日出勤・深夜労働など違法な状態でも「3年で帰国。一円でも手取りを！」という実習生が後を絶たず。対比される日本の労働者は「文句は言うしコストが高い」と徐々に職場から排除され、労働力集約型の低労働条件の定着化につながってきた。

●長岡市内の縫製工場W社は日本人6名、中国の研修・実習生26名で稼働。先般、3年目の帰国直前の中国人労働者が労基法違反を訴えた。新潟ヘルプの会、いがたユニオン、連合中越が連携して対応。悪しき制度疲労と矛盾を実感しつつ、中国人実習生の救済活動が開始された。

サラリーマン川柳 (濡れ落ち葉妻のお抱え 運転手) (川柳を思いつくだび 上司見る) (夢追えば ローンが先に 走り出し) (ローン終え ホツと束の間 墓地ローン)

おしらせ

～ 中越地区生協まつり ～

クルコいのちと緑のまつり



日時 11月9日(日)
10:30～15:00
会場 ハイブ長岡 大ホール

県内で最大規模の「生協まつり」です。

KuruCoの取り扱い商品が『目で見て・手に取って』確かめられます。生産者・メーカーの方々と直接話も出来ます。ご期待下さい。

生産者・メーカーさんから直接商品の特徴など聞けますよ!

生協リユースピン

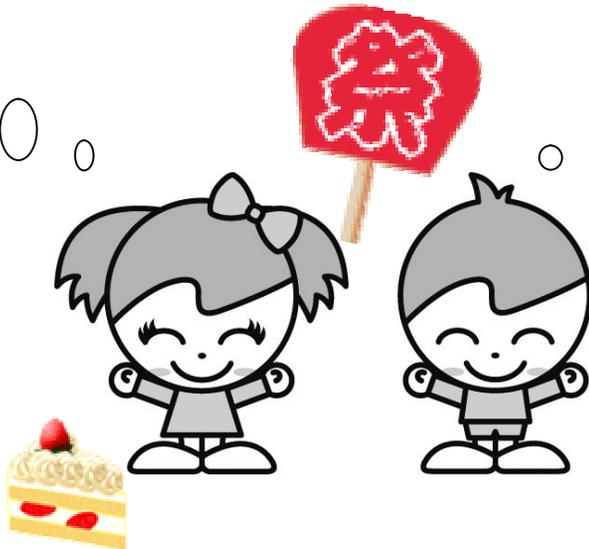
を持参いただいた方には、1本につき『10円の返金』と『飴ちゃん』を進呈しますよ!



お問い合わせ先
総合生協中越支局 TEL 0258-32-2753
総合生協中越センター TEL 0258-46-7700

詳しいご案内は後日お知らせします。カレンダーにチェックしてね! 抽選会もあるよ。お友達をお誘いの上、お越し下さい。お待ちしております。

毎年恒例の生協まつり。今年も開催決定!!! 実行委員会が知恵を絞ってお迎えます。『KuruCo一周年』みんなで楽しいひと時を過ごしましょう!



連合北魚沼支部だより



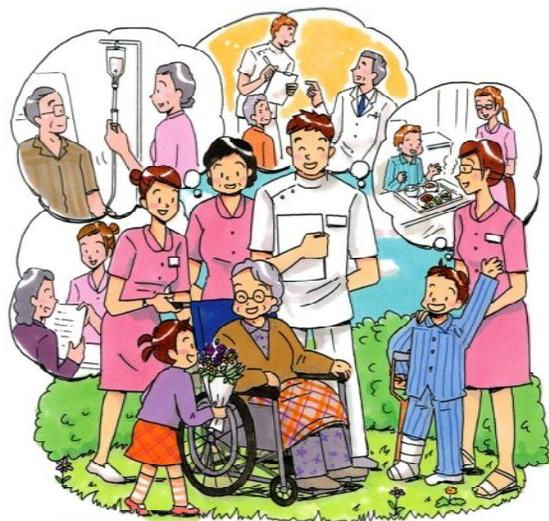
ディーセントワーク街宣行動

10月14日(火)南魚沼から引継ぎ、午後3時から2時間余りにわたり、労働者が健康で文化的な最低限度の生活を営むことができるよう、新潟県最低賃金の改正や安心の社会保障制度の確立などの街宣行動(街宣車による流し街宣)を実施しました。

中心市街地では立ち止まって耳をかたむけてくれる方もおられ、安心して将来にわたって働き続けられる環境作りに向けてこれからも全県の仲間と一緒に訴え続けていかなければならないと強く思いました。

連合小千谷支部だより

単組紹介 小千谷総合病院従業員組合



事業内容は小千谷総合病院、介護老人保健施設「水仙の家」、小規模多機能居宅支援事業所「ひよしの家」、居宅介護支援事業所おぢや、訪問看護ステーションおぢやです。組合員300名で小千谷市の地域医療・介護を担っています。政府の社会保障費抑制政策により「病院医療の崩壊」「介護崩壊」が全国的に社会問題化しています。政府は社会保障費を削る一方で今後10年間に59兆円を費やし、道路・橋・トンネル等の公共事業を予定しています。「安心して暮らせる社会の実現!」には「土木事業国家」から「社会福祉国家」へと政治を変えなければなりません。共にがんばりましょう!!